

不撓不屈

ふとうふくつ

社名の由来

D&I（東京都千代田区）の社名は「ダイバーシティー・アンド・インクルージョン」の頭文字が起源。障がいの有無、性別、世代、職業などダイバーシティー（多様性）が存在する中で個人や組織、世界間に立ちほだかる差異や壁を乗り越え、受け入れる（インクルージョン）社会を創りたいという願いを込めた。2009年8月の起業から3カ月。早くも行き

D&I

③

障がい者就労サポート

詰まりを感じた社長の杉本大祐は障がい者雇用関連の新サービスを思いつく。それが障がい配慮のあるビジネススクールサービス「BAB（バブ）スクール」。障がいに関係なく、誰もが挑戦できる社会を創るための第一歩の取り組みとなった。

学びの場所

06年10月に「障害者自立支援法」が全面施行され、国による障がい者の就労支援が強化されたが、就職に関する学びの場所がなかった。面接やビジネスマナーを教える一方、視覚障がい者向け

テキストを配布するなど就労サポートに努めた。杉本は「お金をかけてでも学びたいという障がい者を受け入れる場所がそれまでなかった」と話す。すでに働いている障がい者も参加した。手話通訳がないなど障がい配慮した研修を行う企業が少なかったこともあり、数多く応募があった。これが契機となり、現在で

新たに求人サイト運営

は約16000件の求人。約500社の求人企業と、約500社の求人企業との連携、就職・転職幅広い障がい者のサポートに取組んでいる。



障がい者テレワーク推進で連携（左から杉本社長、宮元加賀市長、内田陽介弁護士ドットコム社長）

新規事業と並行して企業向け障がい者雇用コンサルティングも継続していった。障がい者の受け皿となる特例子会社の設立支援に取り組み、10年2月に初めて外資系化粧品大手の日本ロレアル（東京都新宿区）から受注した。当社は創業間もない企業だったが、この契約は我々にとって大きな一歩となったと杉本。ラベリングなどの外注業務を内製化し、障がい者を戦力化できた。

自治体と連携

自治体との連携も進ん

中だ。（敬称略）